

平成16(2004)年12月20日

第27号

世田谷稲門会 一敷夫恵
田倉澤島司 邦真
土細寺莊
行人集 編

事務局 〒157-0067
東京都世田谷区喜多見4-33-25
川村保夫方
TEL/FAX03-3417-7104

世田谷稲門会会報

瀬古利彦氏が講演

一月二十九日「新年会」開催

二〇〇五年新年会は一月二十九日午後五時三十分から前年同様「こまばエミナース」で開催することになった。

今回は講演者に瀬古利彦氏を迎え復活が期待されている箱根駅伝をテーマに「箱根駅伝を終えて」と題して講演していただいた後、懇親パーティ、ピング・ゲームなどをおこなう。会費は七千円。

瀬古利彦氏プロフィール



一九五六年、三重県生まれ。昭和五十五年早稲田大学教育学部卒

四日市工業高校で長距離界のエースとして活躍。

中村清監督の指導でマラソンに転向し七八年福岡国際マラソンで初優勝、七九年そして卒業後の八〇年と同マラソン連続優勝の偉業を達成、その

の後ボストン、シカゴ、ロンドンの国際マラソンも制覇し世界のトップランナーとなる。オリンピックでもモスクワ、ロスアンゼルス、ソウルの代表選手として活躍、八八年に現役を引退して、エスピー食品陸上競技部の監督に就任し、後進の指導に当たっている。

マラソン転向後十五回のマラソンで優勝十回という金塔は永遠に残るだろう。

新シリーズ

母校の今!

久しぶりに母校に行つてあまりの変わり様にビックリしたという経験をした諸氏が多いと思う。

また早稲田以外の場所に

新校舎、新学部が設立されたというニュースを聞いても簡単に訪問することは難しい。

そこで創立一二五周年に向けてさらに変貌を遂げつつある早稲田の現状を紹介する新企画「母校の今」を写真部の協力を得て今号からスタートさせた。



第1回 本庄早稲田・リサーチパーク

上越新幹線「本庄早稲田駅」前に約65ヘクタールの敷地を有し「情報通信」「環境」を二大テーマとした研究開発が展開されている。写真はその極く一部を紹介しており、自動車が写っているが広大な敷地内の施設を巡回するもので現在試験走行中とのことである。尚後方の山は大鷹が生息する大久保山で一時的自然保護との兼ね合いで話題になった事が有る。

(撮/記)川村保夫



『〇四年稲門祭・ホーム

カミングデー盛大に開催』

二〇〇四年稲門祭は秋晴れのもと、十月二十四日にキャンパス・大隈庭園で約八〇〇名の校友を集めて開催された。

今年（昭和三十年・三十五年・四十五年・五十五年卒業）の校友が「ホームカミングデー」に招待され記念会堂で盛大な式典が催された。



また大隈

庭園では東京都二十三区支部稲門会と稲門女性ネットワークが担当した様々な催しもので、終日大変な賑わいだった。十一稲門会が模擬店を出店、来場者は各代ごとに庭園で三々五々車座になって、チャリダーパレード、ジャズ演奏など四つの催し物を楽しんだ。

今年も焼き鳥店を出店

世田谷稲門会

世田谷稲門会は三回目の出店で、例年通り『焼き鳥』とビールを中心に販売し、完売一番乗りを二年連続実現。幹事や会員及びその家族の献身的な奉仕により、チラシ作成・配布・幟や赤提灯の調達販売手伝いなど、一丸の協力度制の成果を挙げた。なお売り上げの一部は大学に寄付する予定。

会場では海外旅行など豪華商品があたる福引券も販売され、抽選会場は盛り上がった。

船上納涼会百人以上が参加

記録的な猛暑が続いていた八月二十一日（土）に恒例の納涼会がシンフォニー・モデルナ号（二、六一八トン）で開催され会員、家族など一〇三名が参加した。

午後七時に「日の出埠頭」を波静かな東京湾へ出航した船内では鈴木宏治副会長の司会で土倉享一会長の挨拶、新会員三名の紹介のあと、前原祖彦前幹事長の乾杯で食事がスタートした。

が、昨年に比べて人気はもう一つで昨年の販売枚数を下回った。来年の拡販を期したい。

（鈴木宏治／記）



のハワイアン・バンド「ザ・ナレオ・プランテーション」の演奏とフラダンスをバックに全員着席スタイルでフランク料理のフルコースを堪能した。

食後はデッキで海風に当たりにながら東京湾の夜景を眺めたり、ハワイアン音楽を楽しんだあと、最後は岩上健一副会長のリードで校歌を斉唱し山口進吾副会長の中締めで終了し九時過ぎに下船した。



東京都二十三区支部稲門 会大会開催予定

東京都二十三区支部稲門会は二〇〇五年二月十六日午後六時からリーガロイヤルホテル東京で開催され講演会講師として中曾根康弘氏を予定している。会費は一万円。

部 会 報 告

ボウリング

当会は毎月1回、世田谷オークラボウルで、渋谷稲門会の方々と合同で例会を開催している。
(文中略敬称)



- 6月・参加者14名、初参加寺澤隆夫大健闘。
上位入賞者・146点寺澤隆夫・134点清水廣一・133点山口進吾
- 7月・参加者14名、江口 力、喜寿を超えても大健闘。一同敬服！！
上位入賞者・148点新井 武・146点江口 力・138点山口進吾
- 8月・参加者12名、上位3名の大接戦、しかもハイレベルな！！
上位入賞者・161点新井 武・152点齊田裕二・151点飯田幸裕
- 9月・参加者13名・初参加岩沙 脩、20年振りのプレー
上位入賞者・158点新井 武・149点佐山順孝・144点宮木 甫
- 10月・参加者8名、7月以降4ヶ月連続新井 武ダントツ
上位入賞者・157点新井 武・146点江口 力・145点宮木 甫
- ボウリングは年齢に関係なく、経験のない方でも楽しく気軽に始められるスポーツです。是非ご参加下さい。
(武藤 哲/記)

ウオーキング

11月13日(土) 成城学園駅10時5分発に7名で乗車。初めての一日コースのせいか、参加者が少ない。11時に江の島をめざして、好天の下、江の島大橋を渡る。海は波も穏やかで風も少なく絶好の歩き日和。しかし土曜日で、その上よい天気のため、人出が多い。頂上までエスカレーターもあるが、全員162段の階段なんなく登りきった。新しい展望台で富士山を探すも、カスミもようで、残念ながら見る事かなわず。昼飯。全員に聞いてみると、ほとんどの方が江の島にきたのは、中学生の頃とのことでした。湘南の変わりようには、車で通りすぎりに見聞きしていたが、何十年ぶりかなと感慨深げでした。奥津宮でユーターンし、江ノ電で長谷へ。長谷観音も観光客で一杯。鶴岡八幡宮に行く予定も、この人ごみではと急遽、鎌倉文学館に変更。虚子の娘、星野立子の展示会を開催していました。庭園は、芝生の下方がバラ園になっていて名残の花が咲いていました。旧古河庭園にチョット似ていますね。「鎌倉には何回か来たけれど、鎌倉文学館は初めて」と全員に好評でした。長谷駅から帰路に着く。



名所旧跡めぐりが主体になり、十分な歩行ができませんでしたが満足のいく初の一日コースでした。
(新井 武/記)

写 真

8月29日(日)に例会を開催、10名が参加された。春の撮影会(神代植物公園)のプリントを始めその他で撮った作品を皆さんが沢山持参され披露された。短期間に部会員の作品のレベルが格段に上がっているのが感じられる状況です。デジタルプリントも増え話題が多く弾んで楽しい会でありました。

11月6日(土)は秋の紅葉を写すべく、朝7時44分新宿発「ホリデー快速おくたま1号」に乗って御岳ロックガーデンに向かった。この電車は登山客で新宿で既に満員となり、御嶽駅まではこの状態であった。参加者は5名(麻生、川村、小池、豊田、種谷)のほか、特別参加で練馬の岡田さん(35年理工卒)が参加したので総員6名となった。当日の天気は良く気温も暖かくハイキング日和であった。ケーブルを降りて御岳神社を経由して1時間ほど山道を歩いてロックガーデンに着いたが、適度に紅葉し、秋にしては渓谷は水量が多く、被写体としては絶好の条件であった。紅葉、水流、岩、滝と皆さん思い思いに撮影を楽しんでいました。今回は自然風景を如何に上手く切り取り作品に撮るかの勉強で行った。皆さんいろいろ工夫して撮影したので結果が楽しみです。

12月18日(土)には忘年会を兼ねて例会を開きます。そこに今回の撮影会の作品が沢山発表されると思います。この例会で2005年1月の世田谷稲門会の新年会会場に写真部会会員の作品をご披露する事になりましたので、どんな形でお見せするかを会員の皆さんと討議して決める予定です。是非楽しんで写真を撮っている会員の作品をご鑑賞下さい。

現在は18名の会員ですが、近々3名増加する予定です。

(種谷鴻成/記)

釣 り

10月30日釣り部として、初めてのハゼ天ぷら船を深川の船宿富士見より出船、12名で行なった。18名の予定であったが、前日からの大雨が朝まで残り、6名のキャンセルとなった。しかし釣り場のお台場に着了いたときには、秋晴れの好天気となった。雨の為屋形船での釣りとなったので釣りずらく、雨水が入ったため、型も小さく、数もせず、竿頭で30匹であった。しかし昼食の天ぷらは、揚げたてのエビ、キス、ハゼ等5~6種用意され、美味であった。部で用意したビール、酒で乾杯、なごやかな酒席となつた。屋形船の座敷での宴会はかえってくつろげた。2時納竿、船宿からの土産のあみの佃煮をもらい散会した。

12月26日は、正月甘露煮用ハゼ釣りを利根川豊里でジャンボハゼを予定しております。料金7,000円、貸し竿無料、出船七時。



(柴田 昇/記)

カラオケ

当部は、9月の特別部会「カラオケ旅行」(塩原温泉)に続いて、11月27日(土)第16回例会(総会を兼ねる)を開催した。

場所は例会拠点のカラオケボックス「ドレミファクラブ」(用賀駅そば)。参加者は百歳の長老内藤氏(ご夫妻)をはじめ十九名で、個室四部屋を借り切り各自自慢のノドを披露した。

内容は相変わらず演歌、ポップス等幅広く、今年度日本作詞大賞を受賞した「鳥取砂丘」や今話題の「冬のソナタ」のテーマソング等、新曲・話題曲が登場すれば、長老は艶歌「白い海峡」をしつとりと披露、一人平均六曲を唄い切り大いに盛り上がった。

後半の総会では、活動計画、会計報告、役員選任等の議事を処理し、最後は全員で「上を向いて歩こう」を熱唱、散会した。

次回は17年1月23日(日)に新年会を計画している。

会場はカラオケ・サロン「トレモロ」(池ノ上)でダンスも可能。

ご期待ください。

(蒲原信一/記)

食べ歩き

9月25日12時より平成16年度第1回例会を開催。参加者31名。今回は港区六本木の中華料理店「新北海園」でシックなインテリアに囲まれた重厚な雰囲気の中で至高の北京料理を賞味した。初参加会員3名の自己紹介の後代表世話人より平成15年度当部会の事業報告、会計報告、監査報告(各案は全会員に既送付済)の提案がなされ、拍手を以て承認された。続いて今年度の行事予定等の報告があった。岸田正和氏の乾杯発声により懇親会は開宴。各テーブル共、紹興酒の美味に酔い



フルコースの本場の北京料理に舌つづみをうちながら話題は弾み最高に盛り上がった。熱気むんむんの中にいつしか閉宴の時刻となり名残りを惜しみつつ14時30分解散。解散後は三々五々至近の距離にあり「文化都市の創造」を旗印に都市再生の目玉として誕生し、オープン以来五千万人の来訪者を集め、また最近も多くの話題を提供しつづけている「六本木ヒルズ地区」(森タワービルや毛利庭園、各商業施設等)の散策を行い見聞を広め実りある成果をおさめることができた。

(大須賀肇/記)

ゴルフ

1993年9月習志野カントリークラブ空港コースで、僅か6人参加で産声をあげた世田谷稲門会ゴルフ会が11年の歴史を刻み、今回で40回を数えることになりました。

40回記念大会は静岡県の名門 裾野カントリークラブでゲストを含め、44名の参加で行われました。数日前の予想では雨、天候が心配されましたが、参加メンバーの方々の心掛けがよほど良かったのか、富士山こそ見えませんでした、爽やかな絶好のゴルフ日和となりました。裾野CCは稲門会として初めての会場でしたが、寺澤隆夫さんの親戚にあたる国分孝夫さまのご紹介で当日もゲスト参加して頂けました。

今回は最初の申込43名が1人のキャンセルも無く全員が参加されました。世話役としてこんな嬉しい事はありませんでした。

裾野CCは先日 関東シニアオープンが開催されたコースで素晴らしいコースコンディションでしたが、流石にタフなコースで早いグリーンにも悩まされ、100を切ったのがたった10名でした。その中で堂々入賞されたのは次の方々です。

総合優勝	熊谷 慶紀さん	グロス	84	HD	18	ネット	66
グランドシニア	磯田 稔さん		100		23		77
レディス	田村 紘美さん		101		23		78
ベストグロス	森 昌弘さん		81				

次回は11月19日 埼玉県の名門 飯能ゴルフクラブです。

なお11月5日おおむらさきCCで早大総長杯が開催され世田谷稲門会から過去最高の11名の方々が参加されました。(平井恒夫/記)

囲碁・将棋

第5回オール早稲田囲碁祭(首都圏)に参加

暑い夏のほとぼりがようやくさめた9月26日(日)、第5回オール早稲田囲碁祭(首都圏)が市ヶ谷の日本棋院3階の大広間で開催。参加者総勢72名。23区の各稲門囲碁部会、早稲田大学囲碁部、同教職員組合が一同に参集、我が世田谷部会からも9名2チームが参加。世田谷稲門会としては今回3度目の参戦である。一方、これに併設し早稲田大学囲碁部員による指導碁も行われた。会場はむんむんする熱気で、老いも若きもひたすら碁戦に熱中。残念ながら今回優勝は逸したが好成績を収めた。次回の囲碁祭は来年5月22日に行われる予定。

第18回世田谷稲門会囲碁・将棋部会懇親会の開催

寒さも一段と厳しくなった12月4日(土)の午後、用賀の「石庭」にて、総勢15名、早稲田大学商議員の志水一夫8段をお招きして、第18回世田谷稲門会囲碁部会を開催。志水8段より23区内各地区の稲門会囲碁部会のよもやま話などもあり和気藹々のなかで指導碁が行われた。

6時より場を移し懇親会に移る。酒が入ると皆饒舌になり親睦の輪が一段と広がった。

(矢田廣/記)

ブロック会報告

さくら

秋晴れに恵まれた11月28日の日曜日午後6時より桜新町にあるイタリアンレストランのラピアンタにて第4回世田谷稲門会さくら会が開催された。参加者総勢22名。

今回は、本部から鈴木幹事長、川村事務局長が参加された。

開会の祝辞の後、初参加の方々7名の先ずはご挨拶。順に自己紹介が始まる。

続いてさくら会各部会の活動状況、今後の動向について、各世話人より報告があった。

① 麻雀部会：桜新町の朝日麻雀にて第3回さくら会麻雀会を開催。参加者5名。

② 音楽鑑賞部会：

A ウィーン古典派室内楽の華、モーツァルトを聴く会、10月20日開催。

B 「ジャズの夕べ」玉川会とさくら会の共催で開催。さくら会より4名参加。

③ 観劇部会： 来年1月21日新年歌舞伎公演の鑑賞会を計画。

④ 写真部会：11月14日、秋晴れ日、紅葉の見頃の新宿御苑に4名集合。都心のビルの谷間が見えるなか、御苑の秋の紅葉をカメラに収める。

帰途、新宿中村屋のビルの1室で行われている写真展を鑑賞。

⑤ 食べ歩き部会：11月14日、桜新町神田すし店で食べ歩き会を開催。7名参加。今年百歳になる最長老の内藤さんも参加され、長寿談義に花が咲いた。

⑥ 能楽鑑賞会の発足： 新たに能楽鑑賞会をその道の造詣が深い能世話人を中心に来年から発足させることに決まった。乞うご期待。

次回のさくら会の懇親会は来年桜の季節4月10日(日)に昼食会をやり、その後お花見としゃれ込む予定が決まった。(矢田廣/記)

けやき会

10月2日(土) 経堂駅南口にある居酒屋「フォロミー」にて、午後5時半より開催、出席者は、草野昭次・小林士郎・下谷内堯・武居達冶・辻 起世・中村雄一・松江喜久夫・石綿美知子・前川俊子・天野孝一郎・友吉 彰、以上11名が参会した。

第一回の集いでもあり、自己紹介・近況報告を和気あいあいと行い親睦を深め、本会を有意義な楽しい会に育てることを誓い合うと共に、次回は来年2月5日(土)に開催する事とした。

今回は、7時過ぎ中締めとしたが、未だ物足りない人も多く、有志8名が北口にあるパブ・レストラン「リリー」へ繰り出し、カラオケとなり大いに盛り上がり更なる親交を深め9時過ぎ散会となった。

反省と今後について

世話人会打ち合わせで当初は、第一部「絵てがみ講座」(土屋淑子先生)第二部懇親会を企画した。

残念ながら、第一部は希望者が予定人数に達せず急遽中止とし、今回の気楽な会合のみとなった。格調高く第一部を企画したが、会員に事前調査を充分に行いご案内すべきであったと、世話人一同反省している次第です。

(友吉 彰/記)

玉川会

前回の報告は、7月4日の玉川会総会までであり、その時の会員数は43名であったが、その後2名新入会員があり、45名となった。

●11月5日自由が丘“ラ・リュ”で、さくら会との共催のデキシールドジャズを楽しむ会開催。このバンドは西北会の寺島邦夫さんが主宰するもの。玉川会から越山先輩を始め15名が参加。翌日が越山先輩85歳の誕生日で、全員でお祝いの大合唱となった。音楽鑑賞部会の真木氏が隣組のさくら会と共催としたのは、今後の活動のためにも有意義であった。

●11月20日に小山田氏の紹介で二子玉川割烹“さか本”で拡大グルメの会開催。新入会員江口氏、大法氏と四組のご夫妻を含む22名参加の大宴会となった。山本茂男先輩の乾杯音頭で始まった会は大いに盛り上がり、圧巻は磯田氏が東京六大学全ての校歌を伴奏なしで熱唱! 締めくくりは全員で校歌合唱。大内氏によるフレーフレー早稲田! で幕となった。

(浜田康夫/記)



千歳会

当会は京王沿線のグループ。今回はBブロックから掲記愛称に変更して初めての集まりということで千歳烏山で開催。

日時 7月17日(土) 午後6時~8時

場所 (新中国料理) チャイニーズたかや

参加 13名(会員数は34名)

戦前19年卒の志村光一さんが地元ということもあって元気に参加。京王沿線の戦前から今日に至る移り変わり、学生時代の思い出話し等四方山話に花を咲かせて、特注シルバークオリティの中華料理に舌鼓み、和、洋、老酒等美酒に盃を酌み交しながら、楽しい夜のひとときを過しました。次回、秋に再会を約して散会。

(武藤哲/記)



西北会



昨年6月スタートした「西北会」は会員の方々の豊富な経験や知識をぜひ会員で共有したいと毎回一名にスピーチをお願いし、併せて懇親の場としている。

回を重ねて9月22日第7回、放送記者として活躍された後醍醐良一さん(27年法卒・写真)にお願いし、参宮橋の某製鉄会社研修所と併設の「代々木倶楽部」で行った。

終戦間もない学生時代の武勇伝や若かりし放送記者の頃、マスコミにとって最も手ごわく、取材の難しかった時の総理、戦後の名宰相、吉田首相の単独会見に成功した逸話などおりませ、経験談・裏話など聞かせてもらった。

その後、緑豊かな日本庭園を眺めながら質疑応答・懇親、あっといふ間の3時間だった。
(横田吉明/記)

キャロット会

昨年に引き続き、今年も懇親会を兼ねた忘年会を開催しました。

時は、11月28日(日)夕方5時から二時間、場所は三軒茶屋の寿司割烹「三河屋」二階の一部屋。出席者は21名(案内状発送55名、うち回答48、出席21、欠席27)

森さんの名司会のもとに開宴、世話人代表の守谷さんの挨拶、小生の会計報告、続いて奥田さんの発声で乾杯し懇談に入りました。

開宴に先立ち予め、一覧に纏めた出席者全員のプロフィールを配布していて、これを基に、初参加の方に自己紹介をして頂きました。

概して年配者が多いのは会の性質上やむを得ないところですが、そこはそれ、人生経験豊富なワセダマン会員ひとりひとりそれぞれが、波乱に富んだキャリア、多趣味、多芸、多才の異能の持ち主の集いとあって、爆笑の中で談論風発その留まる処知らず……の雰囲気の中でたちまちにして予定の2時間が経過。

宴たけなわのなか、司会役の発声にて懇談をひとまず打ち切り、東さんの前奏付きで校歌『都の西北』を斉唱、富塚さんのリードで「フレー・フレーワセダ! フレーフレーキャロットカイ!」を連呼、全員の記念写真を撮り納め、次なる再開を期して、懇親会の幕を閉じました。



を斉唱、富塚さんのリードで「フレー・フレーワセダ! フレーフレーキャロットカイ!」を連呼、全員の記念写真を撮り納め、次なる再開を期して、懇親会の幕を閉じました。
(荻原 健/記)

きぬた会

11月7日(日)に、次の2部構成で、「きぬた会」を開催した。

第1部 ビデオとトーク「NHK海外取材の裏側」講師：吉村豪介氏(昭34年教・写真)

第2部 懇親会

第1部の会場は、経費節減のため、無料で利用できる公共施設・世田谷区立「砧図書館」の集会室を使用した。ここには大型画面のビデオ装置があり、収容人数も多いので、今後の利用も考えて世田谷稲門会として登録した。

小さい会議室もあるので、もし、「きぬた会」以外でも使用されたい場合は、「きぬた会」の世話人まで連絡してください。

この会場の件もあったので、他のブロックにも呼びかけたところ、第1部には土倉会長はじめ30人の会員・家族・知人が出席した。講師の吉村豪介氏は、永年NHKでカメラマンとして活躍された方で、自身撮影のNHKスペシャル「求む・若き頭脳」という番組における東大・MIT・ケンブリッジの取材を通じて、(1) TV番組の裏にあるものを見ること(体制に付和雷同せずにもものを見る眼を確立すること)。

(2) TV番組の撮影(取材)することにより、自分自身がどう変わっていくか?—を見つめ直してみる。

の2点をテーマに、たくさんの事例を上げながら、問題点をわかりやすく話された。

第2部の懇親会は、会場を祖師谷商店街の中華料理店「岡田屋」に移し、大いに飲み語る会になった。
(宮木 甫/記)



「会員のひろば」

 二〇〇四年ホームカミングデーに参加して
 宮木 甫

(昭和三十年第一文学部)
 十月二十四日、卒業五十年で、最後となるホームカミングデーに招待され、母校に行ってきた。



高田馬場から、五十年前に

は存在しなかった東京メトロ東西線で早稲田まで——在学中は都バスにも乗らずに歩いたのに！

戸山キャンパスの記念会堂での式典——そう、ここはかつてグラウンドだった。

文学部の各専修対抗野球大会で、我が社会学専修の投手は野球部の小森主将で、相手

チームから本気出すなどお願いされたっけ？

文学部校舎も戸山キャンパスにある。かつての校舎は立って替え中（八号館だっけ？）。

地下入り口の脇にあった学生協の売店はどこへ行ったのかな？ ポスターや立て看板で溢れていた各クラブの部室は夢・幻か？

式典前に応援部の演舞で校歌や早稲田の栄光——栄光は在学中にあった創立七十周年の記念歌だ。白井総長の挨拶が終わったところで、同級生と待ち合わせの演劇博物館へ行く。

しかし、まだ一ヶ月も経っていない九月二十九日にあった社会学同窓会（世田谷稲門会の奥田隆氏、長谷川義樹氏も出席）で会った連中で、樽酒も飲まず歩くのも立っているのもつらいというので、どうも盛り上がりがない。結局、大限庭園に行き、世田谷稲門会売店で、おなじみの皆様方とビール片手に歓談で終わり。

ひんがしへ一駅

暮田耐馬（本名忠雄）
 （昭和三十五年商学部）

これも百年

「早稲田派の忘年会や神楽坂」

明治の半ば、正岡子規はこの句を以って稲門文士にエールを送ってきました。しかし最近、早稲田のひとはすっかり神楽坂に寄り付かなくなっています。いつとき「都の西の書生さん達はお金ないのねつまらない」といわれてお座敷がかからなかったからやむをえません。外にもいろいろご事情がありましようが結果、法大と理科大の縄張りに入り彼らの跋扈に蹂躪されているのが現状です。

だが、ただいま現在二十一世紀初頭のこの町は先端電脳都市に昇華しただけでなく、その纏綿たる情緒は江戸や巴里の大衆文化と同じ手触りのまことに結構な魅力をもった素適な町に変わっています。紐育や倫敦にみられない面白い町といわれるこの神楽坂に思いつき遊んで子規の俳風に報いたというのが牛込生れの私の願いです。



部会紹介

平成16年9月現在

部会名	代表世話人	連絡先	会員数	年会費	活動内容
ゴルフ	平井恒夫	電話/Fax 3704-6332	95名	2000円	年4回コンペ開催
麻雀	下谷内堯	電話0705-712-2651	54名	1000円	親睦会毎月1回 勉強会毎月1回（除8月）
ボウリング	武藤 哲	電話/Fax 3302-2607	18名	無し	毎月1回 第3または第4日曜日
釣り	柴田 昇	電話3700-1290 Fax 3567-3318	18名	1000円	毎月第一土日は溪流/磯釣り 月末日曜は船沖釣り（大物・小物）
食べ歩き	大須賀肇	電話/Fax 3309-0688	63名	1000円	年4回（原則2月・4月・9月・11月の第4土曜）
囲碁・将棋	矢田 廣	電話3700-1378 Fax 3700-1388	29名	無し	年6回開催
カラオケ	蒲原信一	電話/Fax 3307-8368	46名	1000円	1月・3月・6月・11月例会
ウォーキング	寺澤隆夫	電話/Fax 3415-1887	33名	1000円	毎月第2日曜。3月・6月・9月・11月は第2土曜
写真	種谷鴻成	電話/Fax 5433-7052	18名	1000円	2ヶ月に1回例会または撮影会
スポーツ観戦	山口進吾	電話/Fax 3303-2733		参加者から500円	春秋の野球早慶戦他

*ダンス部会は廃部になりました。

「中国点描」

保倉 進 (昭二十五 法)

東京都日中友好協会常務理事水島豊氏(昭四十政経)のお世話で総数三十三名、うち世田谷稲門会より水島豊、岩上健一夫妻、犀川季久夫妻、柏良子、山口進吾、保倉進が参加した。訪問地は北京・西安・洛陽・開封・鄭州・上海



で協会のアレンジによる歓待と連日の「乾杯」など大変貴重な経験をした。特に西安・秦の始皇帝兵馬俑抗を三十年前に偶然発見した老人が写真

集に悠然とサインするのが日課で裕福な生活をしているという。玄装三蔵がインドより持ち帰った経典六〇〇部余を収めた大雁塔。空海の肖像画と説明文に感激。華清池の玄宗皇帝と楊貴妃が使用したとされる浴槽や豊満な石像には圧倒させられた。最終日の晩餐会で岩上氏による フレーフレー中国! を全員でエールし八日間の旅行を締め括り良い思い出となった。

「食べ歩き部会」(有志の会) ◆「三日会」「新一会」等合同稲門の集い

八月十四日、合同で「東京湾大花火大会納涼船上会」を開催。会員家族等三十三名が集合。

午後四時半柳橋を出発。東京湾晴海沖に停泊。江戸前の刺し身や熱々の天ぷらなどを味わいながら懇談は弾んだ。七時よりベイエリアの夜景を背景に連続して打ち上げられた一万二千発の豪華絢爛たる光り花の圧巻を心ゆくまで堪能。懇親を深め九時柳橋に帰着。解散

(大須賀肇ノ記)



◆世田谷稲門会・府中校友会 合同稲門の集い (有志の会)

十月三十日(土)開催。参加者二十五名

黄色や紅色に染まり始めた広葉樹と深緑の針葉樹が織り成す森林に囲まれた東京競馬場(府中)の豪華なメモリアルスタンド(貴賓観覧室)で昼食会を兼ねた競馬観戦会を行った。当日は生憎肌寒く秋雨煙る日となったがスタンドの熱気はむんむんとして活気に満ちていた。

渡辺八郎氏の司会で進行。大須賀肇代表世話人の挨拶並びに乾杯発声で昼食会は開宴。初参加者の自己紹介など交え

各自懇談や競馬レース観戦などでおおいに盛り上った。両稲門会の親睦を深め楽しいひとときを過ぎて十六時すぎ解散。(大須賀肇ノ記)

情報ガイド

『〇四年秋季商議員会開催』

二〇〇四年秋季商議員会が十一月十三日に総合学術センター井深大記念ホールで二十四名の出席のもとに開催された。初めに学術院制度の発足の紹介があった。

盛田商議員会長からは、『文化・スポーツをはじめ学生を視点にして欲しい』との要望があり、帰属意識の強化、愛校心に期待が寄せられた。

白井総長からは、学生数一万人以上を擁する理工学部を二〇〇七年に三つの学部に再編するとの説明があり、また渡辺常任理事からは、「プロック商議員懇談会開催及び商議員会開催回数の変更(年二回を一回に)」の説明があった。最後に新たに理事として加藤清忠氏と河野栄子氏の就任が紹介された。

「二〇〇四年・代議員会開催」

二〇〇四年代議員会が、十一月一日に大隈講堂で開催され、二〇〇三年度収支決算報告承認の件外五件の議題を承認した。引き続き懇親会が大隈ガーデンハウスで開催され、全国から参集した代議員で賑わった。

「奥・井ノ上イラク子ども基金」開設

イラクで凶弾に倒れた二人の目録達成のために、募金活動を開始する。現金振込みや未使用金券などの寄付を受け付ける。5年間で目標一億円。代表発起人 清宮克幸氏他

募金方法

「お振込」 三井住友銀行 東京公務部支店 普通口座

(口座番号) 0154849 (口座名) 奥・井ノ上イラク子ども基金

(オクイノウエイラクコドモキン) 郵便振替口座

(口座番号) 00120131260205 (口座名) 奥・井ノ上イラク子ども基金

(オクイノウエイラクコドモキン) 「その他の募金方法」

未使用金券、書き損じハガキなどの寄付を受け付けます。

送付先 〒34310003 埼玉県越谷市船渡62715

詳しくは、 http://www.oku-inoue-fund.com をご覧下さい。

新入会・休会・退会・名簿の正誤・住所移転等のお知らせ

「名簿（平成16年4月発行）・会報25号記載事項」以降（敬称略）

(新入会員)

	氏名	卒年	郵便番号	住所	電話	Fax
1	松村 秋森	昭33商				
2	能 俊彦	昭30法				
3	小川 正徳	昭41教育				
4	竹村 晃	昭32商				
5	東 直彦	昭41理工				
6	中島 康	昭38理工				
7	塚本 英明	明昭30法				
8	小林 士郎	昭54社会				
9	佐々木清廣	昭30商				
10	江口 瞳	昭35文				
11	岩城 好宏	昭34理工				
12	大法 嘉道	昭63理工				
13	暮田 忠雄	昭35商				
14	本橋真知子	昭45教育				
15	河村 卓郎	昭39文				
16	浮田 靖彦	昭34法				
17	川上 矩生	昭37政経				
18	渡辺 武	昭38政経				

個人情報につき不掲載

(休会員)

P9 久米 裕介 P- 森 勲

(退会員)

P4 岩富 孝 P.8 川嶋 利夫 P.8 北内 健一 P- 児玉 久美子 P11 近藤 良太郎
 P.13 紫藤 実 P- 白石 清 P- 鈴木 利幸 P- 吉田 三郎 P2 佐藤 治郎
 P- 林田 啓介

(変更事項)

P.3 石川 一朗

P.13 島田 實

P.19 永井 達也

編集後記

“進取の精神“のもと、最新のデジタル印刷に挑戦しました。

パソコンで頂いた原稿をそのまま印刷所へ、カラー印刷、納期の短縮、コスト削減、見やすい紙面・・・と理想は高かったのですが、肝心の編集担当者が旧態然。「デジタル・ディバイド」を痛感したひと月でした。

この経験をもとに次号以降さらにより良い紙面作りに取り組みたいと思っています。

次回発行は4月。部会、ブロック会の紹介、投稿よろしくをお願いします。

(寺島 邦夫)

台風と地震の災害で大変な一年が経過します。我が稲門会は会員相互の絆が歳を追うごとに強く成り、新入会者も少しずつ増加しています。母校の創立125周年も、もう間もなくです。多分一大イベントになることでしょうかから、会員諸兄と共に高らかに校歌を唱和したい念じております。どうぞ良いお年をお迎え下さい。

(細澤 勲)

※編集の都合上、文章の一部を割合しました。ご了承下さい。

(編集部)